

# 区長部局と教育部局の協力で 情報セキュリティを高めた 校務支援システムを構築

豊島区は、平成26年度よりセキュリティを高めた統合型校務支援システムを導入。平成27年度から全校で本格運用を開始しています。構成や運用について豊島区の教育委員会及び区長部局の皆さまに伺いました。

平成26年のWindowsXPのOSサポート終了に合わせて校務LANの環境を庁内LANと統合することとし、その中に校務支援システムを構築しました。非常に短い構築期間ではありましたが、平成25年度から、区長部局と教育部局を兼務する職員を担当に配置し、構築時には円滑にプロジェクトが進むよう調整を行いました。統合型校務支援システム全機能を一気に稼働させるのではなく、成績処理機能は、5校のモデル校を決め、モデル校でシステム稼働した後、小学校22校、中学校8校の全校へ展開するよう、学校現場に配慮した運用スケジュールで導入しました。

## 情報セキュリティを高める 取り組み

### 校務系のLANを区長部局の管理する 庁内LANの配下とし、高セキュリティ環境を構築

校務支援系ネットワーク（校務LAN）は区長部局で管理する情報系ネットワーク（庁内LAN）の配下に構築し、強固なセキュリティ環境を実現しました。区長部局の情報システム部門が保有するノウハウを共有することができるため、外部接続先監視、ログイン認証、PCの個体管理などセキュアな環境を実現しています。

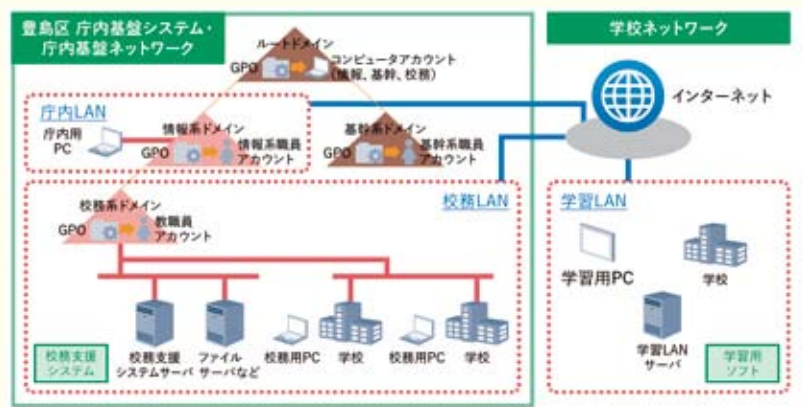
### 指導要録等のペーパーレス化と電子署名の採用

校務支援システムでは、指導要

録等の原本を電子化し、豊島区認証局発行の電子署名を入れたPDFを原本にしています。これによって指導要録等紛失時の服務事故の防止と、ペーパーレス化を



▲左上から教育委員会 恵良様 入澤様、  
区長部局 井手之上様  
左下 教育委員会 池田様、区長部局 木本様



▲図1 ネットワークイメージ

実現しています。

豊島区の学校ネットワークイメージは図1のとおりです。

### 教育委員会独自で学校向けの情報セキュリティポリシーを作成・運用

平成23年度に教育委員会独自で学校情報セキュリティポリシーを定めました。情報資産をセキュリティレベルで分類し、実施手順書に従って運用しています。インターネットのフィルタリングポリシーも作成しています。また、授業支援系ネットワーク（学習LAN）は、校務LANと物理的に分けて学校ごとに整備をしています。また、教育長をトップとする「学校情報セキュリティ委員会」で実施状況を監視し運用改善

しています。

今後は、総務省からの「インターネット分離に関するガイドライン（強靱化対策）」に従い、インターネットを分離するよう計画しています。仮想化技術（※1）により、1台のPCで校務支援システムとインターネットを利用できる環境を保ちつつセキュリティの強靱化を図ります。

### 事務負担軽減の成果

全校を対象に実施した校務支援システム導入に関するアンケートの結果によると、1教員1日あたり約45分間の創出効果がありました。これは1年間で156時間の時間短縮が図れたことになり、子どもの育ちを教職員全体で見守るきめ細やかな指導の充実につながっています。

（※1）仮想化技術とは？

1台のコンピュータの中に、複数の仮想コンピュータを作り、それぞれに別々の基本ソフトを入れて動かす技術。